

第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会

会期：2022年5月25日(水)～27日(金)

会場：大阪国際会議場

会長：溝端 康光 (大阪公立大学大学院医学研究科 救急医学 教授)

ランチョンセミナー4

自然災害の経験を活かす 災害医療教育の実践と今後の展望

座長

織田 順 先生

大阪大学大学院医学系研究科 救急医学 教授

演者

笠岡 俊志 先生

熊本大学病院災害医療教育研究センター 教授

日時

2022年5月26日(木) 13:10～14:10

会場

第5会場 (大阪国際会議場 10F 会議室 1004-7)

●本セミナーは整理券制です。

配布場所：大阪国際会議場 5F ホワイエ

配布時間：5月26日(木) 7:45～12:10

※整理券はセミナー開始後無効となります。

Abstract

国内では人的被害を伴う様々な自然災害が発生している。熊本県でも平成28年熊本地震や令和2年7月豪雨など大規模な自然災害が発生し多くの人命が失われた。過去の自然災害による人的被害の要因を解明し今後の災害医療提供体制に活かすことが重要である。熊本大学では災害医療教育研究センターを新設し災害医療に関する研究や教育を推進している。地震や豪雨災害による人的被害に関する研究では災害の規模のみならず避難生活が健康被害に与える影響も重要と考えられ、最近の研究を紹介する。さらに当センターでは文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」に採択された「多職種連携の災害支援を担う高度医療人材養成」事業を推進し、急性期から慢性期まで長期的視野で活動可能な医療チームを構成する多職種の人材養成を行っている。

本事業の現状と今後の展望をお話するとともに、避難所の健康管理に有用な物資や救護所用の資機材についても紹介したい。



共催：第25回日本臨床救急医学会総会・学術集会／日本光電工業株式会社